

# トラックバッテリー盗多発

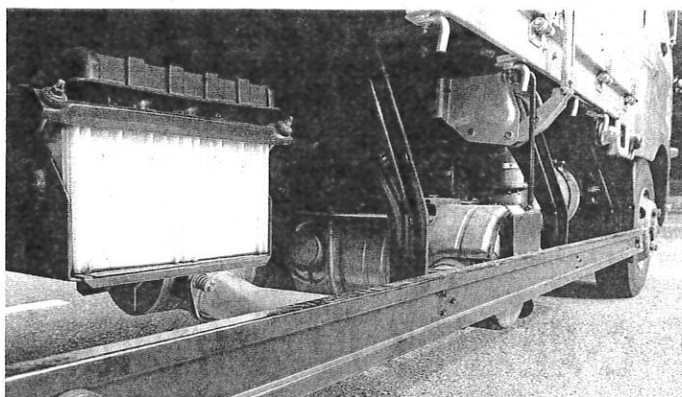
トラックに取り付けられている大型のバッテリーを盗まれる被害が、尾張地方を中心に相次いでいる。乗用車と異なり、トラックのバッテリーは車体の外側に装備されているため狙われやすく、警察は被害防止対策を講ずるよう呼び掛けている。

(佐藤航)

五月十六日の朝。清須市のレンタカー会社で、駐車場に止めていたトラック十八台のバッテリーが外されているのが見つかった。一台に複数のバッテリーが装備され、盗まれたのは計三十五個に上った。駐車場は誰でも入れる状態で、前日夜から未明にかけて被害に遭ったとみられ、西枇杷島署が窃盗事件として調べている。

同署管内では三月下旬から、運送会社や建設会社などの駐車場に止められたトラックのバッテリー盗難が目立

## 車外装備 狙われやすく



盗難被害が多発しているトラックのバッテリー＝名古屋市中区で

レンタカー会社の被害のように、一夜に大量のバッテリーが盗まれるケース。北名古屋では、運送会社などの駐車場で六月四日に十台の二十一個、七月四日には十台の二十個が被害に遭った。被害は尾張地方や名古屋、豊田市などでも多発。県警によると、一月から今月十四日までに二百四十八件のカーバッテリー盗難が確認され、西枇杷島署が最も多く、北署が二十九件、津島署が二十六件と続く。

一般的にトラックのバッテリーは、車体外側の下部にボルトとナットで取り付けられていることが多い。ボンネットを開けないと外

せない乗用車と違い、「工具があれば持ち去ることができる」(捜査関係者)。駐車場のセキュリティの手薄さも要因になっているとも指摘する。バッテリーは含有する鉛などが売買対象になり、県警は何らかのルートで転売されているとみている。高出力の大型車用バッテリーは一般車用よりも高価なことも、被害が多発している背景にあるという。

各署は、バッテリーを固定するボルトを取り外しにくい防犯用に切り換えるよう指導しているほか、防犯カメラやセンサーライトの設置など防犯対策の徹底を求めている。